

NY マーケットレポート (2020年7月29日)

2020年7月29日(水)

アジア主要株価	終値	前日比	年初来%
日経平均	22,397.11	-260.27	-5.32%
ハンセン指数	24,883.14	+110.38	-11.73%
上海総合	3,294.55	+66.59	8.01%
韓国総合	2,263.16	+6.17	2.98%
豪ASX200	6,006.39	-14.16	-10.14%
シンガポールST	2,573.45	-9.52	-20.15%
インドSENSEX	38,071.13	-421.82	-7.71%

外国為替	終値	高値	安値
USD/JPY	105.01	105.24	104.77
EUR/JPY	123.77	123.79	123.02
GBP/JPY	136.36	136.47	135.68
AUD/JPY	75.45	75.51	75.15
EUR/USD	1.1787	1.1806	1.1714
BRL/JPY	20.088	20.427	20.085
RUB/JPY	1.433	1.447	1.433

	終値	前日比	年初来%
英FT100	6,131.46	+2.20	-18.71%
仏CAC40	4,958.74	+29.80	-17.05%
独DAX	12,822.26	-13.02	-3.22%
スペインIBX35	7,206.20	-40.20	-24.54%
イタリアFTSE MIB	19,880.57	-22.06	-15.42%
トルコ・イスタンブール100	1,135.55	-17.15	-0.76%
ロシアRTS	1,266.01	+8.32	-18.26%
南ア全株指数	56,707.74	+219.63	-0.66%

*トルコ株は7/27から表示桁数が変更

	終値	前日比	年初来%
米ダウ平均	26,539.57	+160.29	-7.00%
S&P500	3,258.44	+40.00	0.86%
NASDAQ	10,542.94	+140.85	17.50%
南北米主要株価	終値	前日比	年初来%
カナダ・トロント総合	16,294.66	+173.34	-4.51%
メキシコ・ボルサ指数	37,720.84	-50.38	-13.37%
ブラジル・ボベスパ指数	105,605.17	+1496.10	-8.68%

*一部暫定値

コモディティ	終値	前日比	年初来%
NY GOLD	1953.40	+8.80	28.25%
NY 原油	41.27	+0.23	-32.41%
CBOTコーン	326.25	-3.75	-15.86%
CRB指数	144.339	+0.861	-22.31%
ドル指数先物	93.453	-0.243	-3.05%
VIX指数	24.10	-1.34	74.89%

Crypto Currency	本日	前日
CME Bitcoin(先物・期近)	11240	11020
Ripple (BSTP)	0.244	0.233
Ethereum (BSTP)	322.57	319.97
Bitcoin Cash	291.53	294.39

日本国債利回り	本日	前日
2年債	-0.115%	-0.116%
5年債	-0.113%	-0.109%
10年債	0.023%	0.023%
30年債	0.544%	0.566%
欧州国債利回り		
ドイツ10年債	-0.498%	-0.508%
英国10年債	0.118%	0.109%
フランス10年債	-0.180%	-0.200%
米国債利回り		
2年債	0.131%	0.139%
3年債	0.149%	0.162%
5年債	0.252%	0.264%
7年債	0.427%	0.429%
10年債	0.574%	0.579%
30年債	1.236%	1.217%

7/30 経済指標スケジュール

08:50	【日本】6月百貨店・スーパー販売額
08:50	【日本】6月小売売上高
10:00	【ニュージーランド】7月ANZ企業景況感
10:30	【オーストラリア】6月住宅建設許可件数
10:30	【オーストラリア】2Q輸入物価指数
11:00	【シンガポール】6月マネーサプライM2
15:45	【フランス】6月生産者物価指数
16:00	【スイス】7月KOF先行指数
16:00	【トルコ】7月経済信頼感
16:55	【ドイツ】7月失業率・7月失業者数
17:00	【ドイツ】2Q GDP
17:00	【欧州】7月欧州中銀経済報告
17:30	【香港】6月小売売上高[価額]
18:00	【欧州】6月失業率
18:00	【欧州】7月鉱工業信頼感・7月消費者信頼感
18:00	【欧州】7月サービス業信頼感
18:00	【欧州】7月経済信頼感
18:30	【南アフリカ】6月生産者物価指数
20:00	【メキシコ】2Q GDP
21:00	【ドイツ】7月消費者物価指数
21:00	【南アフリカ】6月財政収支
21:30	【米国】2Q GDP・2Q個人消費
21:30	【米国】新規失業保険申請件数
21:30	【米国】失業保険継続受給者数

7/30 主要会議・講演・その他予定

・米企業決算
アップル、フェイスブック、フォード、アマゾン
アルファベット

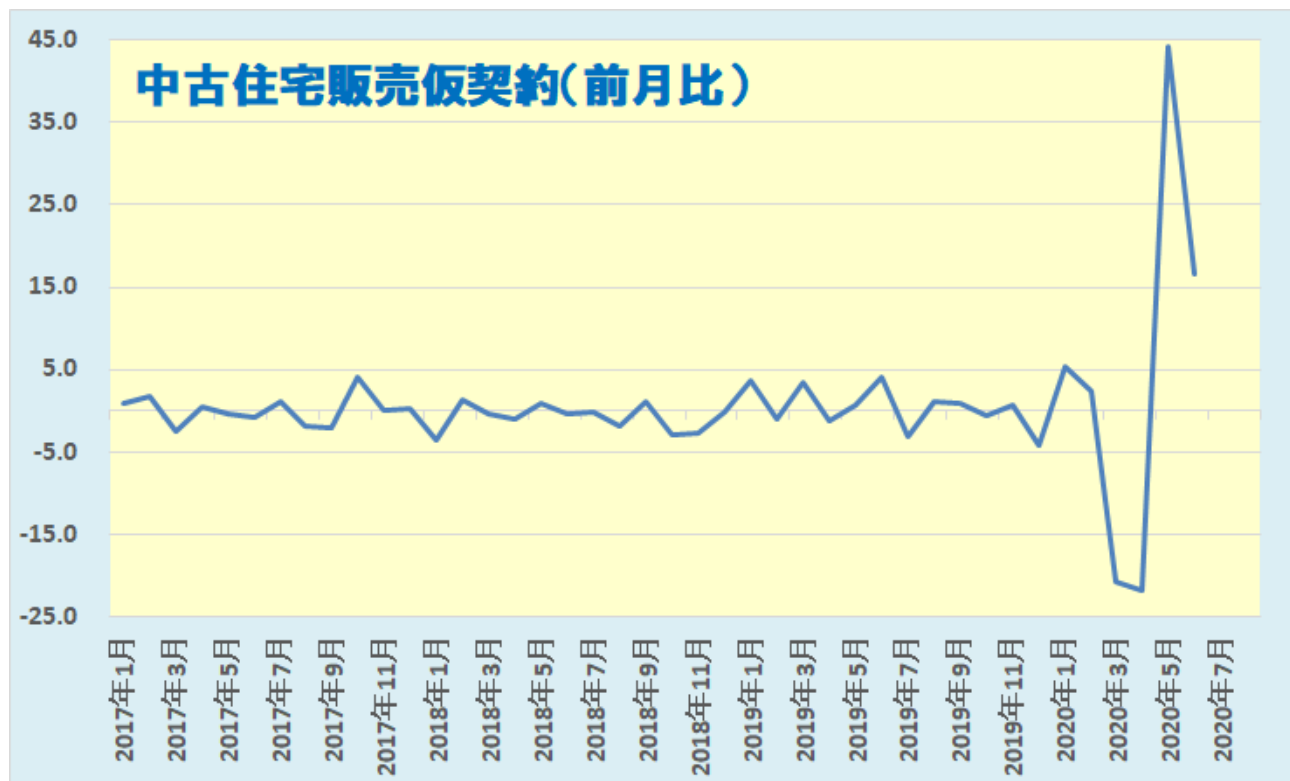
NY 市場レポート（前日 21 時 00 分～午前 5 時 30 分まで）

主要な米経済指標の結果

6 月中古住宅販売仮契約（前月比） 16.6%（予想 15.0%・前回 44.3%）

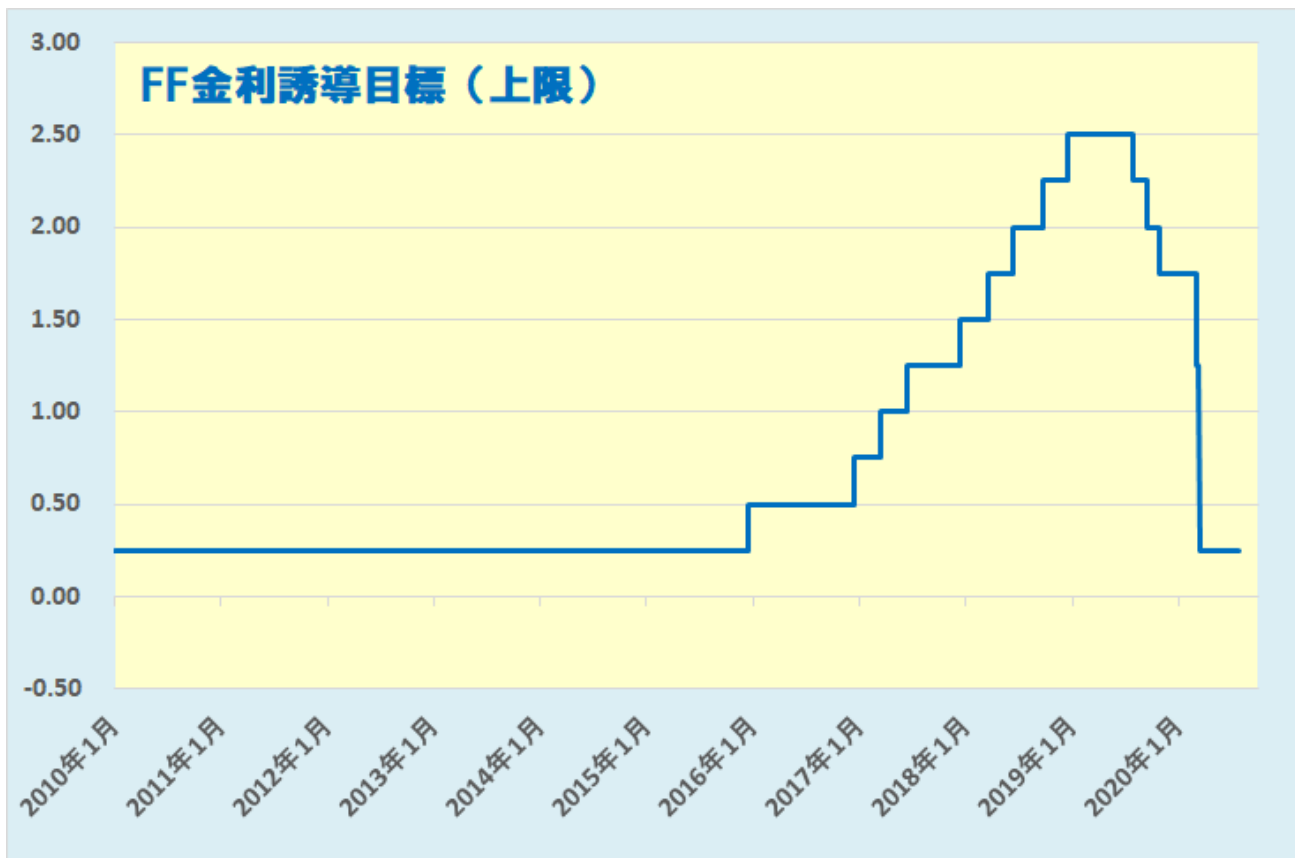
6 月中古住宅販売仮契約（前年比） 12.7%（予想 2.2%・前回 -10.4%）

6 月の米中古住宅販売仮契約指数は、116.1 と前月の 99.6 から一段の上昇となり、2006 年 2 月以来の高水準となった。前月比、前年比ベースで市場予想を上回る伸びとなった。住宅ローン金利の低下に加え、新型コロナウイルスの感染再拡大する前のデータだったことが影響した。地域別では、北東部が+54.4%、中西部が+12.2%、南部が+11.9%、西部が+11.7%となった。



データを基に SBILM が作成

FF 金利の誘導目標 0.00%-0.25% (予想 0.00%-0.25%・前回 0.00%-0.25%)



データを基に SBILM が作成

FOMC の主な声明

- ・ F F (フェデラルファンド) 金利の誘導目標を 0.00%-0.25% に維持することを決定した。
- ・ 雇用最大化と物価安定の目標を達成する軌道に乗ったと確信するまでレンジを維持すると予想する。
- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大は、米国および世界中で経済的苦難をもたらしている。
- ・ 経済活動と雇用は、ここ数カ月で幾分持ち直したが、年初の水準を大きく下回ったまま。
- ・ 厳しい局面で経済を支援するためにあらゆる手段を行使し、雇用最大化と物価安定に全力で取り組む。
- ・ 経済の道筋は、ウイルス感染の行方に著しく左右されるだろう。
- ・ 公衆衛生の危機は短期的に経済活動、雇用、インフレの大きな圧迫要因となり、中期的な経済見通しに著しいリスクをもたらす。

パウエル FRB 議長の会見での主な発言

- ・今の経済低迷はわれわれが経験したことの無い厳しさだ。
- ・コロナ感染はインフレ圧力の低下ショックをもたらす
- ・経済の今後の道筋は極めて不透明であり、大部分はウイルスを抑制できるかどうかによって左右される
- ・ここ数週間は感染者数の増加と、それを抑制する措置が再度講じられていることが、経済活動の重しとなり始めている兆しが見られる
- ・必要ならフォワードガイダンスと資産購入の調整可能
- ・利上げを考えることを考えてさえいない

米主要株価指数は反発

米株式市場では、FOMCの結果発表を控えて様子見ムードもあり、主要株価指数は序盤から小動きの展開が続いた。FOMCでは、積極的な緩和政策の継続が改めて示されたことで、金融緩和が長期化するとの見方が広がり、買いが優勢となった。さらに、パウエルFRB議長が必要ならあらゆる政策を実施する方針を示したことも押し上げ要因となった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比223ドル高まで上昇した。引けにかけては上げ幅を縮小したものの、160ドル高(+0.61%)で終了した。一方、ハイテク株中心のナスダックは、140ポイント高(+1.35%)で終了した。



データを基に SBILM が作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	素材	2.11%	1	JPモルガン・チェース	2.42%
2	金融	1.31%	2	アメリカンエキスプレス	2.40%
3	テクノロジー	1.17%	3	ユナイテッドH	2.25%
4	ヘルスケア	1.12%	4	DOW	2.11%
5	石油・ガス	1.09%	5	アップル	1.92%

データを基に SBILM が作成

ドル/円は一時 104.77 まで下落

NY 市場では、FOMC の結果発表を控えて様子見ムードが強まっており、ドル/円は序盤から小動きの展開となった。一方、米主要株価指数が序盤から上昇したこともあり、クロス円は底固い動きとなった。FOMC では事実上のゼロ金利政策を継続することが改めて表明されたことを受けて、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。さらに、米 10 年債利回りが 0.592% から 0.562% まで低下したことも加わり、ドル/円は一時 104.77 まで下落し、3/13 以来の安値を更新した。しかし、安値圏では値頃感の買い戻しに加え、米主要株価指数が上げ幅を拡大したことから、ドル円・クロス円は堅調な動きとなり、ドル/円は 105.15 まで値を戻した。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様自身でお願いします。